

# くら・ぴあ通信

令和4年8月号(第44号)

社会福祉法人 ひとほ福祉会

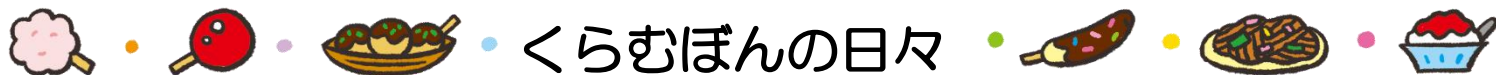
指定通所支援事業所

くらむぼん(0826)42-2188

ぴあ・くらぶ(0826)42-1144



今年も夏休みが始まりました。子どもたちは普段の放課後とはまた様子が違い、のびのびとしています。外に出ると今にも溶けそうな暑さの中、毎日外に出て遊ぶ子どもたち。有り余るパワーを思いきり発散し、くたくたになって帰る子どもの姿を見ると、うらやましくも感じます。夏休みが終わった時にどれくらい成長しているか、楽しみにしています。



## くらむぼんの日々

くらむぼんの駐車場スペースに、新たに砂場ができました。スタッフで整備をして、夏休みが始まる前日について子どもたちにお披露目。放課後送迎車でくらむぼんに到着し、砂場を見つけるとみんな大喜び。荷物を置いて、遊び方や約束事の話を決めると我先にと向かいます。2年生のH君は、突然砂場ができたことが不思議で、どうなっているのかとひたすら砂を掘り返していました。地面のアスファルトが見えて、駐車スペースだったことが分かって嬉しくなり、周りの子にも教えていました。1年生のT君は、裸足になって自分の足が砂に埋もれていく感覚が楽しく、スタッフに砂をかけてもらおうと声を上げて喜んでいました。

砂まみれになって全身で遊ぶ子どもたちの姿はキラキラしています。この夏休み、たくさん遊んでほしいです。



## 活動の様子

### くらむぼん

しばらくお休みしていたクッキング活動を、この夏休み期間、感染対策を徹底して再開することになりました。子どもたちにとっても、大人たちにとっても久しぶりの活動です。先日のメニューはお好み焼き。包丁を使い、キャベツを切る時には「おうちでも使ったことがある」と自信満々な子や、大きさのお手本をまな板に置くと、切ったものを一つ一つ並べて確認する子がいたり、それぞれが熱心に取り組んでいました。自分が手を加えた料理は一段とおいしく、「早く食べてみんなさ」と他の人を急かしながら食べる様子が微笑ましかったです。

### ぴあ・くらぶ

先日、親子交流会を開き、鶴学園八千代校舎にて陶芸体験をしました。陶芸に使用する葉っぱを集めるため、緑溢れる施設周辺をどんな葉っぱにしようか親子で会話しながら散策。直感で次々集める子、じっくりお気に入りの葉っぱを探る子、あえて穴のあいた葉っぱを選ぶ子など、葉っぱ選びも個性豊かです。陶芸の粘土を力を調整しながらつぶして伸ばして、葉っぱの配置を考えて。日頃できない体験に子どもたちも集中して取り組んでいました。五感を刺激してワクワクする楽しい時間になりました。

